

山口大学医学部附属病院から笑顔と情報を発信するコミュニケーションマガジン

山大病院だより

8

2017

VOL.235

特集：◎山口の未来の医療を支える山大研修医



山大研修医

医学部附属病院では、医療・医学分野を牽引する未来のリーダーとなる医師を育成するため、研修医の支援に積極的に取り組んでいます。臨床医になるには、医学部を卒業後、国家試験に合格して医師免許を取得した後、研修医として2年間にわたり臨床研修を受ける必要があります。

この2年間の臨床研修は、医師としての土台を形成するための大変重要な期間です。様々な診療科を回り、手技や知識を深めつつ、臨床研修の修了目標を達成することはもちろん、その後の専門医資格の取得や将来なるべき医師像をしっかりと見据え、日々の研修に励み必要となる基礎的な力を身につけていきます。

本院では研修医のみならず、充実した研修を送れるよう多彩なプログラムを用意し、専任教員が研修内容や進路の相談に親身に対応しています。また、大学ならではの先進医療や最先端の研究内容などにも触れることができ、多数の経験豊富な指導医による充実した教育体制、各種セミナーの開催や最新の設備機器、図書館の24時間利用など、大変充実した研修環境を整備しています。

密着！ 「研修医の一日」 第三内科(木曜日)

本年度は研修医8名、研修歯科医4名が、4月より本院での臨床研修をスタートしました。今回は、研修医の一日に密着します。



研修風景



木曜セミナー

◎木曜セミナーとは…
昼休みの時間帯に昼食をとりながら、研修医が学んでおくべきことや知っておくと役に立つこと等、研修医に必要な知識・技術等を講義や実習・見学を通じて修得します。お弁当が出るのも大変助かっています！



病棟回診

15:00 14:00 13:00 12:00 11:00 10:00 9:00 8:00

◎病棟業務
◎患者さんの診察・治療

◎患者さんの検査
(骨髄検査・生検など)

◎木曜セミナー

◎病棟回診
◎血液検査データチェック
◎検査・治療オーダー
◎火曜日は、カンファレンス・教授回診



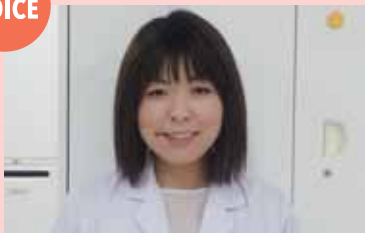
VOICE



研修医 1年目 山中菜々美

「研修医って何者?」「なんとも若い医者風なやつがいるなあ。」そう思われる患者さんも多いことでしょう。研修が始まって4ヶ月が経過しました。患者さんに接するとき、医師の仕事に必要な論理的な思考(勉強)と経験が少ないため、どうしても自信のなさが現れてしまいます。そのため患者さんに「経験せんとできんのやから、どんどんやっついていいよ」と言われたときは本当に嬉しかったです。だからこそ、日々の研修を大切に、これからも頑張っていきます。

VOICE



研修医 2年目 道上真奈

私は産婦人科医を志しています。初期研修2年間のうち最初の1年間は、内科・救急科・麻酔科・新生児蘇生科など産婦人科以外の科で研修を受けました。現在はほとんどの研修医がこのように志望する専門科以外も回るようになってきました。早く専門科を学びたいと思う一方で、他職種の方々とつながり、チーム医療を学べる良い機会であると感じています。今後出会う患者さんにより良い医療を提供できるよう、ネットワークを広げつつ、日々精進して参ります。

VOICE



研修医 2年目 酒井康平

医療の現場に出て痛感させられたのは、不測の事態はいついかなる時にも起こりうるということでした。不測の事態により良い医療を実践するためには、幅広い専門的な知識のもと、正確な判断が必要となります。そのため、研修期間中に幅広い分野の知識を習得し、臨床現場で経験を重ね、手技を深めることが今後医師として重要だと思います。これからも患者さんに安心してもらえるような医師になれるよう、知識と技術を培って参りたいと思います。

VOICE



研修歯科医 前田亮典

山口大学には歯学部がありません。そのため、入れ歯や金属の詰め物などを専門にしている先生はいませんが、町の歯医者さんでは経験できない患者さんの全身管理や全身麻酔下での手術等を経験できます。このような他では経験できないようなことを学びたいと思い、山口大学医学部附属病院を研修先を選びました。これからはしっかりと学び、経験して、歯科医師としての知識や技術を磨いていきたいと思っています。

本院では、医師臨床研修の他に歯科医師臨床研修も実施しています。歯科医師臨床研修では、歯科医師としての人格を養い、患者中心の全人的医療を理解し、すべての歯科医師に求められる基本的な診療能力(態度、技能および知識)を身に付け、頻度の高い疾患や病態およびプライマリ・ケアに対応できる歯科医師を育成するための1年間の初期研修を行っています。

研修歯科医について



勉強会



18:00

17:00

16:00

◎曜日によって、論文抄読会や勉強会を行います。

◎曜日によって、看護師・栄養士さんとのカンファレンスも行っています。

キャリアナビゲーションin山大を開催



6月8日(木)と6月23日(金)、医学生・研修医を対象とした進路説明会「キャリアナビゲーションin山大」を開催しました。

本院の各診療科(部)や県内の15の協力型臨床研修病院がブースごとに研修の特徴や研修医への教育支援体制、キャリアサポート体制などの説明を行いました。今回で6年目の開催で、両日で160名の参加がありました。

参加者アンケートでは、「研修医のリアルな声が聞けてよかった」「それぞれの科の詳しい特徴が分かりとてもためになりました」など大変好評でした。



第8回

山口県 ドクターヘリ 事例報告会

REPORT

2017年 7月22日(土)



山野上敬夫氏による特別講演

山口県におけるドクターヘリの運航をより安全・円滑に行うため、消防機関などの連携・協力を図るため、山口県ドクターヘリ事例報告会を開催しています。

今回は、局地災害による多数傷病者発生事例をテーマとし、県内各消防機関の消防職員や救急指定病院等の医師、看護師など約100人の参加がありました。

開会にあたり、杉野病院長から、山口県におけるドクターヘリ事業への協力に対する謝辞と、今後の救急医療の向上のために更なる連携を図りたいと挨拶がありました。

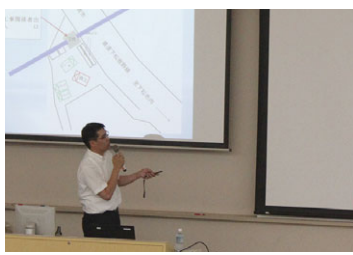
続いて、医学部附属病院先進救急医療センターの金田副センター長から、平成28年度の山口県ドクターヘリ運航実績について、出動要請は300件を超え、出動件数(緊急現場97件、転院搬送194件)も年々

増加しているなどの報告がありました。

特別講演では、県立広島病院救命救急センター長の山野上敬夫氏から「多数傷病者事案における県庁の役割」、同センター部長の多田昌弘氏から「2つの局地災害におけるドクターヘリの運用について」と題して講演が行われました。広島県で発生した土砂災害とトンネル多重衝突事故に関して、山野上氏からは、広島県DMAT調整本部要員として災害時のDMAT調整本部の設置及び運用について、多田氏からは、DMAT隊員又はフライトドクターとして現場での活動状況やこの事案で得られたことなどが紹介されました。参加者からは活発な質疑があり講師からも熱い応答がありました。

事例発表では、下松市のトンネル事故によるCO(酸化炭素)中毒患者多数発生事例と美祿市の交通事故による多数負傷者発生事例の2件について、救急現場で対応した下松市消防本部及び美祿市消防本部の救急隊員、フライトドクター、フライトナースからそれぞれの立場における対応や考察が報告されました。

最後に本院先進救急医療センターの鶴田センター長から、消防機関や協力病院の連携、協力によりドクターヘリによる救急医療の提供が行えていることへの謝辞と局所災害における貴重な事例を今後の活動に役立てていきたいと挨拶があり閉会しました。



下松市消防本部 北村警防課長による事例発表



特別講演での質疑応答



金田副センター長から運航実績の報告



開会の挨拶をする杉野病院長

ドクターヘリって？

ドクターヘリは、救急医療用機器等を装備し、初期治療を行うために救急医療専門の医師と看護師を救急現場にいち早く運び、高度な医療機関へ搬送する医療用ヘリコプターです。

山口県ドクターヘリ概要

基地病院	山口大学医学部附属病院
施設等	ヘリポート、運航管理室
医療スタッフ	フライトドクター 9名、フライトナース 7名
使用機種	BK117 C-2(7人乗り) (操縦士、整備士、医療スタッフ等4名、患者)
運航開始日	平成23年1月21日(金)
運航日・時間	毎日、8時30分～日没まで
出動形態	1. 現場出動(消防機関からの要請) 2. 転院搬送(医療・消防機関からの要請) 3. 災害出動(山口県からの要請)
搬送先病院	山口大学医学部附属病院, 県立総合医療センター 関門医療センター, 岩国医療センター 徳山中央病院, 済生会下関総合病院 など
ヘリ離着陸場	県内404ヵ所(平成29年1月現在)

REPORT

ドクヘリ見学レポート

本院では、希望があればドクヘリ見学を行っています(事前申込必要)。7月19日(水)はタイのチェンマイ大学の学生さん、8月1日(火)には神原学童保育クラブのみなさんが見学に来られました。

●タイ チェンマイ大学のみなさん



運航管理室でドクヘリの概要についての説明

ドクヘリ内部の詳細説明



記念撮影

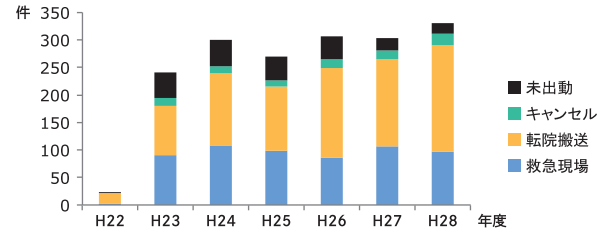
●神原学童保育クラブのみなさん



ドラマの影響もあり、みんな興味津々です



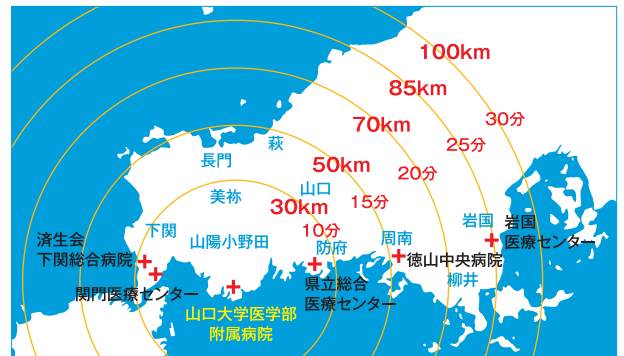
運航開始からの出動実績



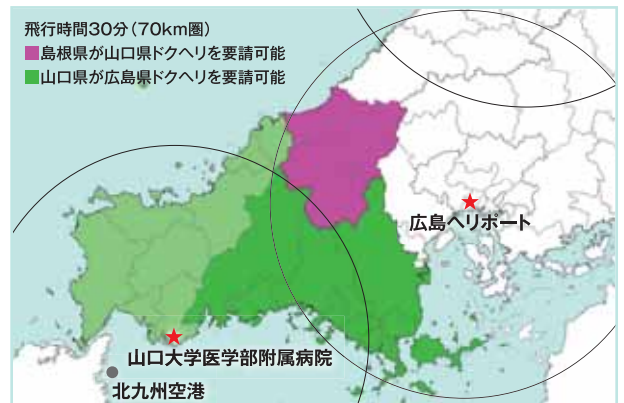
出動範囲

消防機関からの出動要請を受けてから4分で離陸し、30分で県内全域をカバーします。平成25年6月からは、中国地方5県広域連携協定による県外へも出動しています。

ドクターヘリ飛行範囲(山口県内)



広域連携による運航



2病棟4階

各病棟をご紹介します

2病棟4階は、放射線科19床と呼吸器・感染症内科12床の混合病棟です。看護師28名、看護補助者3名、クラーク1名（平成29年7月現在のスタッフ）が所属しています。

放射線科では、胸腹部の悪性腫瘍に対して化学療法や放射線療法のほか、ⅠV R（※インターベンシヨナルラジオロジー）が行われています。呼吸器・感染症内科では、



気管支鏡検査や肺がんに対する化学療法や肺炎治療など、主に肺疾患に対する検査・治療が行われています。両科ともに様々な病期に対応しており、侵襲を伴う検査や治療を安全で安心して受けていただけるよう、質の向上に努めています。

2病棟4階は、肺疾患の患者さんが主に入院されている病棟です。中でも肺がんの患者さんの割合が非常に多く、化学療法や放射線治療を受けながら、長期にわたり疾患と付き合わなければならず、入院を繰り返される患者さんも少なくありません。抗がん剤の副作用やがんによる痛みにくじけそうになりながら治療を続ける患者さんや、治療

効果が十分に得られず、医師から十分に説明を受けて納得された上で緩和ケアを選択し転院される患者さんや、家族が待つ自宅に帰るといふ在宅を選択する患者さんもいます。患者さんの思いは様々ですが、常に寄り添い、患者さんの意志を尊重し、治療や予後に向けて「これでよかったです」と思える最良の選択ができるようサポートしています。



担当医師としっかり情報共有し治療をサポートします

病棟内では、がん患者さんと家族への対応について、3名の院内がん認定看護師、1名のがん放射線療法認定看護師らと共に専門的な知識や対応のスキルについてスタッフ間で共有しています。日々のケアの中で、患者さんと家族との信頼関係を大切にし、入院中の看護だけでなく、退院後の生活を見据えて、医師をはじめ薬剤師、診療連携室や緩和ケアセンターなど他職種のスタッフと連携を密にし、安全で安心できる療養生活を送っていただけるよう、一丸となってチーム医療を提供しています。

私たちは、これから迎える超高齢化社会に向けて、自己研鑽に努め、日々、患者さんに寄り添い、一日でも早く住み慣れた地域へ帰れるようにサポートし、患者さんが安心して治療に専念できるよう細やかであたたかな看護を提供していきます。

※インターベンシヨナルラジオロジー…画像下治療。レントゲンやCT、超音波などの画像診断で体を透かしてみながら、カテーテル等で行う治療



カンファレンス



気管支鏡検査の様子

東師長より一言
2病棟4階は医師や他職種間の関係も良好で、患者さんも再入院の方が多いので、とてもアットホームな雰囲気です。スタッフはみな明るく笑顔が素敵で、常に患者さんへ優しく丁寧な対応を心掛け、頼もしいかぎりです。

栄養治療部

季・節・の
レ・シ・ピ



暑い夏にぴったりの簡単ジェラートの紹介です。作り方は、凍らせた果物と牛乳(またはヨーグルト)と練乳をフードプロセッサーで混ぜるだけ。再冷凍も必要なし。旬の果物を冷凍しておけば、好きな時にこのデザートが楽しめます。糖分や乳脂肪分が少なく市販のものより低エネルギーで後味すっきり。素材のおいしさが良くわかる一品です。ただし、食べすぎにはくれぐれもご注意を！



変りダネのトマトのジェラート

Today's menu

簡単ジェラート

基本の材料
(1人分)

- 好みの冷凍果肉..... 60g
- 牛乳またはプレーンヨーグルト..... 6g
- 練乳..... 6g

作り方

凍らせた果物と牛乳(またはヨーグルト)、練乳をフードプロセッサーで混ぜるとできあがり。



- ブルーベリーやバナナなど水分が少ないものの場合、フードプロセッサーが回りにくいため、牛乳(ヨーグルト)は12gにします。
- 水分が少ないため、ミキサーでは作れません。(ミキサーが回りません)
- 果物を冷凍する時は、よく洗って皮や種を除き余分な水分やシロップをさり、一口大にカットしてからラップや袋で冷凍すると作業しやすくなります。
- 作りたてがなめらかでおいしいので、食べる量だけ作りましょう。再冷凍すると硬くなり舌触りが悪くなります。
- トマトは完熟したものがおすすめです。



バナナ

バナナ約80kcal

バナナはまるでソフトクリームのような食感に



ブルーベリー

ピーチ

ブルーベリー約55kcal
ピーチ約75kcal



キウイ

トマト

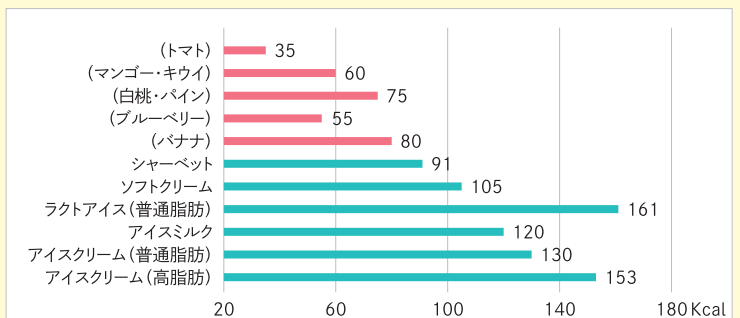
マンゴー

パイン

キウイ約60kcal・トマト約35kcal
マンゴー約60kcal・パイン約75kcal

市販のアイスクリームのエネルギーと比較すると...

市販のアイスクリームのエネルギーと比べてみました。乳脂肪や砂糖の使用量が多いほどエネルギーは高くなります。市販のアイスは100g中約20~30gの糖質が入っています。冷たいとそんなに入っているとは感じませんが、溶けたアイスではとても甘く感じるはず。程々の量を楽しみましょう。



◎監修：管理栄養士 有富早苗 福田有子

日本食品標準成分表2015年版(七版)より

病院整備 計画室 だより



新病棟新営工事進捗状況

5月末には1階床部分までしか出来あがっていなかった第一病棟側(黄枠部分)の骨組みが、6月末には3階床部分まで、8月初旬現在で5階床部分まで上がってきています。



平成29年5月27日撮影



平成29年6月24日撮影

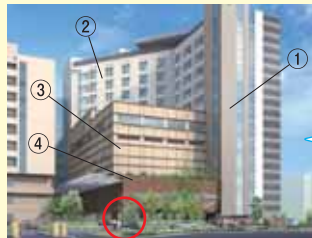
新病棟モデルルーム運用確認

昨年からの、新病棟の病室及び付随するトイレ・手洗い場のモデルルーム(実寸大)を設営して看護師等による運用確認を実施しています。このたび、ベッド周りの医療ガスや各種スイッチの配置について最終確認を行い、患者さんスタッフ双方にとって操作しやすい配置となりました。今後は、実際の床・壁材を使用したモデルルームの設営を予定しています。



外装(外壁・柱窓)の実物サンプル見学

新病棟の外装(外壁・柱窓)の実物サンプルの見学を行いました。右上の外壁は、それぞれ左上の新病棟完成図①〜④部分に、左下の八角形の柱は、屋外(赤丸部分)に設置される予定です。また、看護師や清掃業者等を対象に窓(ヘアガラス)の見学を実施し、運用上のポイントとなる事項について施工担当者との意見交換を行いました。(右下参照)



再開発整備事業へのアクセス

山口大学 再開発

検索



再開発整備事業URL

<http://h-seibi.hosp.yamaguchi-u.ac.jp>

お知らせ H29年度 肝臓病教室開催のお知らせ

予約不要/どなたでも参加できます

日時 9月22日(金) 14:30~15:30

場所 1病棟10階 カンファレンスルーム

- テーマ**
- 脂肪肝とメタボについて(講師:松本医師)
 - 肥満症に対する運動療法(講師:前原理学療法士)
 - カロリーコントロール食について(講師:管理栄養士)

日時 11月24日(金) 14:30~15:30

場所 1病棟10階 カンファレンスルーム

- テーマ**
- 肝硬変症の合併症対策について①「腹水、脳症」(講師:前田医師)
 - 減塩食について(講師:管理栄養士)
 - 正しい排便コントロールについて(講師:1-10W看護師)

お問合せ 山口大学医学部附属病院 肝疾患センター

TEL 0836-22-2371 URL <http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~kanzou/index.html>

※お車でお越しの際は、駐車料金200円が必要ですので、ご了承ください。



編集後記

夏休みももうすぐ終わりですね。少し前までは午前中はなんとかエアコンなしでも我慢できたのですが、最近は全くだめですね。エアコンなしの生活は考えられません(°_°) 暦の上ではもう秋ですが、まだまだ暑い日が続きますので、みなさま体調にはお気をつけてください。

皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしております。今後読んでみたいテーマ、興味のある記事などお気軽にお寄せください。

FAX 0836-22-2113 E-mail me202@yamaguchi-u.ac.jp

企画発行: 山大病院だより編集委員会
事務担当: 山口大学医学部総務課総務係

〒755-8505 山口県宇部市南小串一丁目1番1号

TEL 0836-22-2007 URL <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp>